

公表日

2025年 11月 28日

事業所名

こばんはうすさくら八幡西割子川教室

保護者等数(児童数) 29名 回収数 29件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	5		2	部屋が広いとは言えないがその分外出なども多いので満足です。	今後も児童の成長につながるように工夫して活動などしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26			3		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	25	2		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1		4		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1		1	日々の活動はその都度確認できて分かりやすい	継続して、連絡帳だけでなく送迎の際にその日の様子を細かく伝えさせていただいてます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	3		2	以前は紙で月間の予定を確認しやすかった	連絡帳では見にくい際は印刷したものをお配布します。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	5	2	2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1		12		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	2		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	7	7	8	コロナがあったので難しいとは思いますが、もし交流会などあれば子供も喜ぶと思うのでして頂けたら嬉しいです。（兄弟を連れていける環境だとなお助かります）	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	2			利用都度に伝えてもらったり、定期的にヒヤリングもしてもらえる	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	5	2	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	10	13	送迎の際に「面談について聞いて」返事がなかったことがありました。	送迎の職員にご家族様からの相談などはしっかり管理者や児童発達支援管理責任者に伝えるように教育してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	1	4		

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	2		1	とても満足しています。	継続して頑張れればと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	4	2	7	定期的に写真で活動を確認する機会がもう少し増やして欲しいです。活動中の写真などを見ると嬉しいです。	教室活動の支援を主体としているのでなかなか写真などとれずにすみません、お出かけなどの活動では様子が分かるように努力してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			7		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		8		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	2		1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	4				
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1		1	窮屈気にも慣れて楽しく通っています。いつも本当にありがとうございます。	支援方法も工夫し満足できるように努力していきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日 R7年 11月 28日 事業所名 こばんはうすさくら八幡西割子川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	物をあまり置かずに玩具などは別の部屋に置いています。	再度教室の物の配置など見直していく
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	0	児童2から3人に対して1名は出勤している	継続して配置できるようにする
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	2	本来入り口であったところよりも安全な裏口を入り口として使用している（段差なども少ない）	身体機能に問題がある児童は少ないが児童の特性に合わせて対応していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	3	毎日の清掃はもちろん午前中の空き時間に清掃活動を行っています。建物の外側も草抜きなど行っています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0	教室のほかに事務室・相談室があるので職員とともに個別に使用できる	継続してスペースの確保おこなう
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	3	月に一度の会議と職員が確認できるよう児童別の特記事項がある	個別支援計画の情報共有を今以上にしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	アンケート結果の確認行っている	集計内容を確認できるようにしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	会議や面談を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	0	今後も第三者評価を行っていただきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	17	1	職員研修や外部研修に参加できる	教室のハウスマルの読み込みも行う
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0	前月の15日には確認できるようにしている	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	0	ご家族様の意見を取り入れて最善の計画を立てています。こちらから積極的に連絡を取り計画しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	かかわる職員で話す場面を設けている	タイミングが合わない時は児童発達支援管理責任者が個別で話を聞いている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0	常に共有して支援行っている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	3	各教室で前月に話し合い行事など決めている	近年ではハロウィンなど新しい文化を取り入れて社会性を身に着けている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	1	季節に応じた活動も提供している	お出かけ先も増やすことで様々な刺激を得ることが出来ている、地域にイベントなどにも参加している
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	児童の発達段階に応じて個別の課題と社会性などの集団行動について作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	0	朝礼ではもちろんその日の活動（支援内容）について確認している	前月に業務分担表を作成し役割の話し合い、把握を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	0	終礼の時間を設けており業務内容に振り返り行っている、またその日の利用児童特記について話している	参加出来ない職員は日報や、共有のSNSなどで情報共有行っている

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	毎日連絡帳や日報の内容を共有し支援につなげている	特に共有しないといけない情報は書面で全員が常に確認できるようにしている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0	半年に1度は行い必要に応じて回数を重ねている	家庭との連携も行き情報を引き出して困りごとを見つけている
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	0	開催される場合は可能な限り児童発達支援管理責任者、管理者、指導員が参加します。他施設へ行き会議も行います。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	1	必要性がある児童のケースに応じて管理者を中心に対応している	学校でのケース会議や小児科での話し合いその児童にかかる方と連携して支援しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	施設でも多様性を考え1人1人の個性を大切にして支援行っています。	今後は職員児童ともに新しい社会性を取り入れていければと考えています。
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	就学前から連絡行き支援方法などについて話している	学校それぞれで特色が違うのでなるべく方針に合わせて支援行う
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	8	今後機会があれば今以上に積極的に参加する予定です。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	15	3	まだ各施設で感染対策など行っている状況があります。機会は少ないので今後社会情勢や地域の方針に合わせて行きます。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	面談や送迎時に直接話すことで施設での情報と家庭などの情報のすり合わせを行い共通理解を目指している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	9	まだ各施設で感染対策など行っている状況があります。機会は少ないので今後社会情勢や地域の方針に合わせて行きます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0	利用開始時に説明行っている	定期面談でも説明行う
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0	定期面談で話を聞くようにしている	
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0	利用開始時に説明行っている	定期面談でも説明行う
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	アブリやメッセージ等でも対応できるようしている	早急に対応が必要なものは電話し確認しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	18	まだ各施設で感染対策など行っている状況があります。機会は少ないので今後社会情勢や地域の方針に合わせて行きます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0	管理者を中心に対応しています。	不在の場合でも連絡が来るようにしており早急に対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18	0	今年度から連絡帳にHUGを用いることでより情報発信しやすいようになっています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	鍵付きのロッカーでの保存している、情報の入っているパソコンは持ち出しあないように職員に指導している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	施設では視覚支援を主に行い児童に情報が伝わりやすいようにしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	18		参加機会を設ければだと思います。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	3		定期確認しているが周知できていない部分もあるので回数を増やせればと思う
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	研修と訓練を行い実際に行動している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	18	0	確認しその経緯なども確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	0	指示書のコピーもらい対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	5	発見時は記入していただくようにしている	会議等で情報共有している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	定期的に会議行っている	資料など定期的に確認できるように事務所に置いている
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	0		